



株主通信

第57期 報告書 2018.1.1 ▶ 2018.12.31

P8 » 中期経営計画の概要

P9 » Brand Topics

成長分野に対する効果的な経営資源投資

株式会社 ルックホールディングス

Brand Information

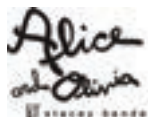
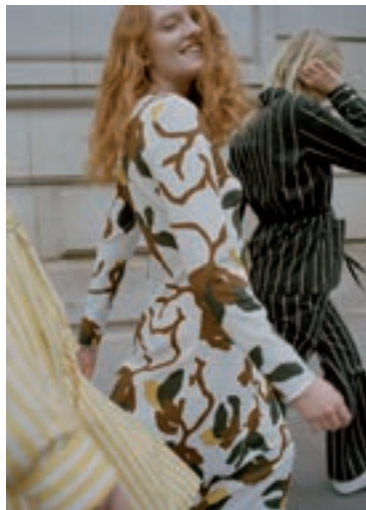
ブランドのご紹介

株式会社ルック

marimekko

マリメッコ

インテリア、ファッション、バッグと幅広いラインナップを扱うフィンランドのライフスタイルデザインブランド。



アリス アンド オリビア

デザイナーステイシー・ベンデットのパーソナリティとスタイルが凝縮されたライフスタイルブランド。

KEITH

キース

ブリティッシュトラディショナルを継承しながら進化を続けるキースは自分らしさを常に意識する女性の為のブランド。



lepetto

PARIS

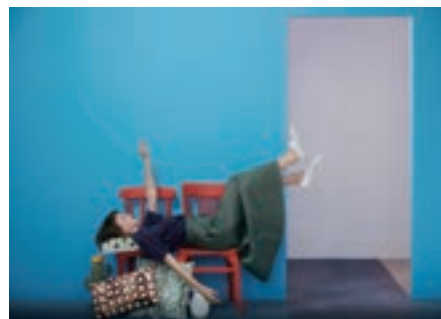
レペット

1947年、ローズ レペットガリレ用シューズをデザインしたことから始まったブランド。伝統的な技術を用いて手作りされた靴は、確かなクオリティと美しさを約束します。



BENSIMON

ベンシモン



高感度のファッション、ホームインテリア、デザインを組み合わせたユニークなライフスタイルビジョンをベースとしたフランス発のブランド。



KORET

コレット

自分自身のために時間を楽しむことができる、大人の女性をターゲットにしたコーディネートブランド。



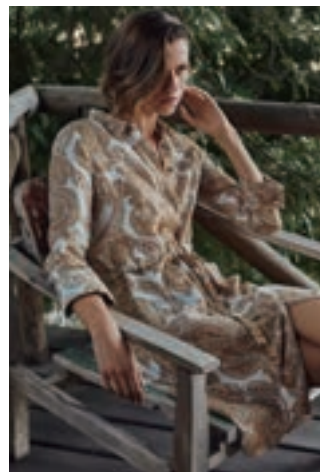
イル ビゾンテ

ワニー・ディ・フィリップがデザインするイタリア・フィレンツェ発のバッグ&革製品のブランド。



イル ビゾンテ ウオモ

イル ビゾンテのメンズコレクション。



SCAPA

スカパ

ファッション都市アントワープのブランド。上質で上品、タイムレスなファッションを提案。シルエットとスタイリングにこだわりを持って発信するブランド。

株式会社レッセ・パッセ

LAISSÉ PASSÉ



レッセ・パッセ

「上品、可愛いものが好き」のDNAを持ちつつも世の中のトレンドも大人可愛く取り入れたい! そんな女の子達の気持ちを満足させるアイテムをシーンごとに展開していきます。

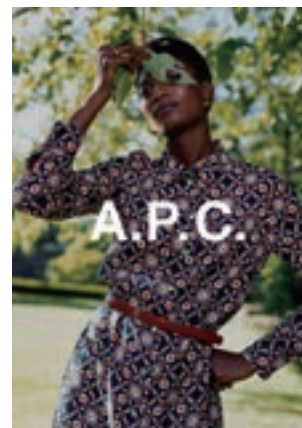
デビュー・ド・フィオレ

上品で女性らしいスタイルリングをメインテーマに、程良いトレンド感をプラスして働く女性の様々なシーンを演出します。

Début de Fiore



A.P.C. Japan株式会社



A.P.C. アー・ペー・セー

本質的なエレガンスを追求した、ミニマルかつラディカルなモダン・フレンチスタイルを提案。

株式会社デンハム・ジャパン



デンハム

2008年にアムステルダムで誕生したデンハムは、国際的にも名高いデニム職人ジェイソン・デンハムによって設立されました。「ディテールの中に見いだされる真実」「伝統を重んじ、しきたりを壊す」をコンセプトに掲げたプレミアムデニムがブランドの中心となります。





代表取締役社長 多田 和洋

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、平素は格別のご支援を賜り、心より厚く御礼申し上げます。

ここに、当社グループの第57期（2018年1月1日から2018年12月31日まで）における事業概況につきまして、ご報告申し上げます。

今後も、当社グループは「お客さま第一主義」のもと、持続的な成長と安定的な収益を実現し、更なる企業価値向上を図ってまいります。株主の皆様におかれましては、引き続きご支援、ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

当期の事業環境と業績の概況について

当連結会計年度におけるわが国経済は、企業収益や雇用情勢の改善等を背景に緩やかな回復基調で推移したものの、米中貿易摩擦の長期化により世界経済の減速懸念が高まるなど不透明な状況が続きました。

当アパレル・ファッション業界におきましては、訪日外国人による免税需要を除き、衣料品に関する消費者の節約志向は依然として強く、更には相次ぐ自然災害の影響等もあり、厳しい環境が続きました。

このような状況の中、当社は2018年1月から持株会社体制に移行しグループ経営の一層の効率性向上に向けた対応を実施してまいりました。当社グループは、当連結会計年度を最終年度とする中期経営計画で掲げる重点政策「既存事業の収益向上」、「Eコマース事業の拡大」、「積極的な新規事業開

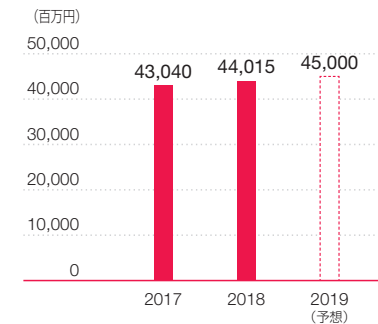
発」に引き続き取り組み、安定的な収益基盤の確立に努めてまいりました。既存事業では、堅調に推移しているインポートブランドの出店政策を推し進め、Eコマース事業では、会員向けポイントサービス「ルックメンバーシップ」の対象ブランドや対象店舗の拡大に取り組むなど、成長分野に対して経営資源を効果的に投資してまいりました。新規事業では、フランスのライフスタイルブランド「ベンシモン」の独占輸入販売を開始いたしました。

これらの結果、当社グループの当連結会計年度の売上高は440億1千5百万円（前年同期比2.3%増）、営業利益は16億5千7百万円（前年同期比13.6%増）、経常利益は18億2千1百万円（前年同期比4.3%増）、親会社株主に帰属する当期純利益は21億6千6百万円という結果で終了いたしました。

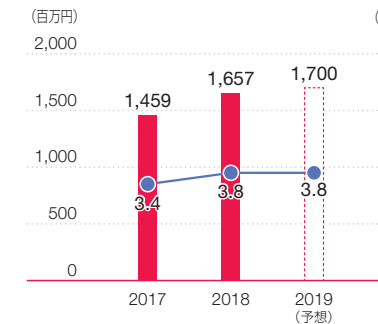
財務ハイライト(連結)

	当期の業績	
売上高	440億15百万円	(前年同期比 2.3%増)
営業利益	16億57百万円	(前年同期比 13.6%増)
経常利益	18億21百万円	(前年同期比 4.3%増)
親会社株主に帰属する当期純利益	21億66百万円	(前年同期比 41.0%増)

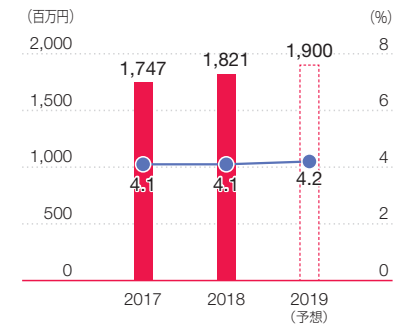
■売上高



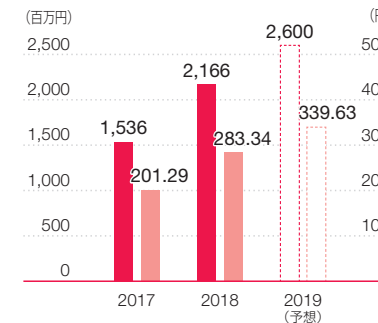
■営業利益 ●営業利益率



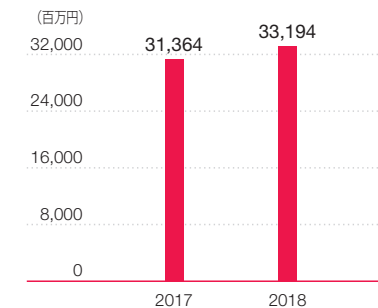
■経常利益 ●経常利益率



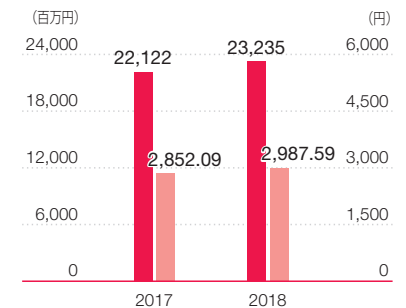
■親会社株主に帰属する当期純利益
■1株当たり当期純利益*



■総資産



■純資産 ■1株当たり純資産*

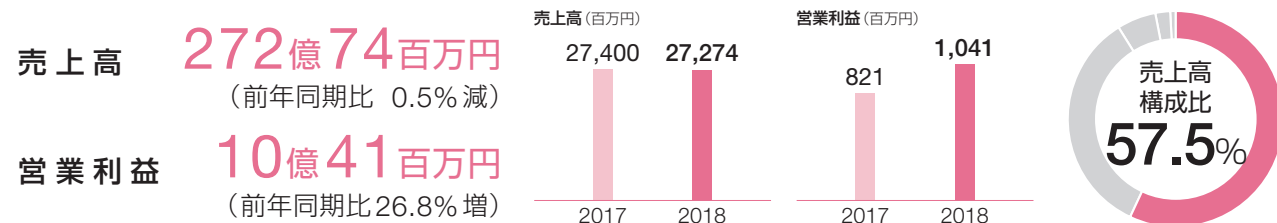


* 2018年7月1日付で行った株式併合(5株を1株)の影響を考慮して換算しています。

セグメント別業績の概況

※売上高および売上高構成比は、セグメント間の取引消去前の数値でございます。

アパレル関連事業 日本



既存事業では、中核事業会社の株式会社ルックが展開するインポートブランド「イル ビゾンテ」、「マリメッコ」が堅調に推移いたしました。「マリメッコ」においては、旗艦店である表参道店のリニューアルや2018年9月にオープンした日本橋高島屋S.C.への新規出店など、更なるブランド価値向上に取り組み、「イル ビゾンテ」では2018年10月にグランフロント大阪への新規出店など更なる売上拡大策を推し進めてまいりました。「A.P.C.」を展開するA.P.C. Japan株式会社においては、2018年3月に開業した東京ミッドタウン日比谷への新規出店に加え、バッグや財布、シューズなど品揃えを強化した雑貨の売上が好調に推移した結果、売上が伸びました。「デンハム」を展開する株式会社デンハム・ジャパンにおいては、新丸ビルや百貨店インショップへ新規出店を推し進め、更なる売上拡大に取り組んでまいりました。

Eコマース事業では、一部ブランドにおいて実店舗とEコマースの在庫を一元的に管理する取り組みを開始するとともに、「マリメッコ」や「レッセ・パッセ」において、スマートフォンアプリを導入するなどオンラインと店舗の連携強化に努めてまいりました。また、会員向けポイントサービス「ルックメンバーシップ」において、「デンハム」や「ベンシモン」を対象ブランドに加え、更には対象店舗を一部百貨店インショップに拡げるなど、お客様の利便性向上に努めるとともにEコマース事業の拡大に向けた諸施策を実行してまいりました。

新規事業では、フランスのライフスタイルブランド「ベンシモン」の独占輸入販売を開始し、2018年2月に東京代官山、8月には横浜の商業施設マークイズみなとみらいに「ベンシモン オトゥール・デュ・モンド」を出店いたしました。

アパレル関連事業 韓国及びその他海外

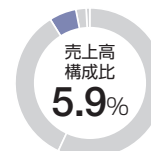


「韓国」につきましては、株式会社アイディー・ルックにおいて、「サンドロ」「マージュ」などインポートブランドの売上が好調に推移したことに加え、「A.P.C.」の新規出店や自社Eコマースサイトのリニューアルを実施するなど売上が順調に推移いたしました。株式会社アイディー・ジョイにおいては、不採算店舗の撤退や一部百貨店への新規出店を推し進めるなど、販路拡大に努めてまいりました。その結果、「韓国」の売上高は159億6千9百万円(前年同期比8.2%増)、営業利益は8億7百万円(前年同期比65.5%増)となりました。

「その他海外」(香港・中国)につきましては、ルック(H.K.) Ltd.(香港)や洛格(上海)商貿有限公司において、売上が堅調に推移したものの、事務所移転費用や人件費増加により販売費及び一般管理費が増加し営業利益は前年同期を下回りました。その結果、「その他海外」の売上高は2億3千1百万円(前年同期比4.0%増)、営業利益は1千6百万円(前年同期比27.7%減)となりました。

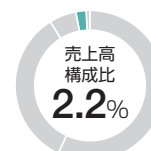
生産及びOEM事業

株式会社ルックモードにおいて、中核事業会社の株式会社ルックからの受注減少により売上高が前年同期を下回り、28億1千7百万円(前年同期比9.6%減)となりました。一方、新たなグループ内事業会社からの受注に対する生産体制の一部見直しや人員の効率的な配置転換などを実施した結果、営業利益は3千1百万円(前年同期比713.9%増)となりました。



物流事業

株式会社エル・ロジスティクスにおいて、ルックグループ外の受託取扱高が減少した結果、売上高は10億5千3百万円(前年同期比6.9%減)、営業利益は2千4百万円(前年同期比65.0%減)となりました。



飲食事業

株式会社ファッショナブルフーズ・インターナショナルが展開する「ジェラテリア マルゲラ」において、展開店舗数の減少により売上高が前年同期を下回りました。その結果、売上高は9千7百万円(前年同期比29.9%減)、営業損失は4千1百万円(前年同期は2千4百万円の営業損失)となりました。



次期の見通し

業績予想(連結)	
売上高	450億円 (前年同期比 2.2%増)
営業利益	17億円 (前年同期比 2.5%増)
経常利益	19億円 (前年同期比 4.3%増)
親会社株主に帰属する当期純利益	26億円 (前年同期比 20.0%増)

2019年度のわが国経済の見通しにつきましては、政府や日銀の経済政策等により緩やかな回復基調で推移していくことが期待されるものの、米中貿易摩擦が世界経済に与える影響や英国のEU離脱交渉など、依然として不透明な状況が継続するものと予想されます。

このような状況において、当社グループは、2023年を最終年度とする中期経営計画を策定し、以下の4つの基本政策に取り組んでまいります。

- | | |
|-----------------|--------------|
| 1. 「収益基盤の確立」 | 2. 「EC事業の拡大」 |
| 3. 「積極的な新規事業開発」 | 4. 「経営基盤の構築」 |

「収益基盤の確立」では、国内事業において、前中期経営計画で構築した事業ポートフォリオに基づき、「マリメッコ」や「イルピゾンテ」、「A.P.C.」などお客様のライフスタイルに密着したアイテムを軸とした主力事業の拡大に向け、経営資源を効果的に投資してまいります。海外事業においては、韓国アイディーラックでの主カインポートブランドを中心とした既存事業の拡大に取り組むとともに、アイディージョイでは新しい商品カテゴリーを展開し更なる事業拡大に努めてまいります。

「EC事業の拡大」では、国内において、EC独自の商品・サービスの提供や店舗との在庫連携機能の向上、サブライ

チェーンの再構築による物流効率の改善など、お客様満足の継続的な向上に取り組んでまいります。海外においては、韓国でのブランド単独サイト立上げによる自社Eコマースサイトの拡充や顧客データシステムの刷新などを実行してまいります。これらにより2023年度のグループEC売上高70億円を目指してまいります。

「新規事業開発」では、国内、海外ともに「衣食住+美」の価値提供に寄与するブランド、事業開発に取り組んでまいります。

「経営基盤の構築」では、経営理念である「お客さま第一主義」をさらに浸透させ、新しいライフスタイルや価値の創造を通じて、お客様の満足を追求し、生活文化の向上に貢献していくとともに、創造性豊かな人材を育成し、魅力あるブランド価値を共創してまいります。

これらの施策を実行し、2019年12月期の連結業績につきましては、売上高450億円(前年同期比2.2%増)、営業利益17億円(前年同期比2.5%増)、経常利益19億円(前年同期比4.3%増)、親会社株主に帰属する当期純利益26億円(前年同期比20.0%増)を見込んでおります。

当社グループでは、更なる成長のため安定的な利益構造の確立に向けた事業戦略と効率運営を推し進め、中期経営計画最終年度の2023年には、売上高500億円、経常利益30億円を目指してまいります。

次期の配当について

当社は、株主の皆様への利益還元を経営の最重要政策のひとつであると認識し、健全な財務基盤の維持、積極的な事業展開に備える内部留保の充実を図りつつ、収益状況を勘案しながら利益配分を実施することを基本方針としております。

2019年12月期の配当(予想)につきましては、上記の基本方針に沿って1株当たり30円を予定しております。

中期経営計画の概要 2019年～2023年

4つの基本政策

1. 収益基盤の確立

更なる安定的な収益構造を確立する

● 既存事業の収益性強化

〈国内〉・お客様の“ライフスタイル”に密着したアイテムを軸とした事業の拡大

〈海外〉・韓国「株式会社アイディーラック」では、主カインポートブランドを中心とした既存事業の更なる拡大

・「株式会社アイディージョイ」では、既存ブランドでの新しい商品カテゴリーの導入による事業拡大

2. EC事業の拡大

2023年までに国内海外グループ計でのEC売上高を70億円へ

● お客様満足の継続的な追求によるEC売上への拡大

〈国内〉・EC独自の商品、サービスの提供

・店舗との在庫連携機能の向上

・サプライチェーンの再構築による物流効率の改善

〈海外〉・ブランド単独サイト立上げによる自社サイトの拡充

・韓国での顧客データシステムを刷新

4. 経営基盤の構築

多様な個性を活かし、魅力のあるブランド価値を共創する

● 経営理念の更なる浸透

「お客さま第一主義」のもと、新しいライフスタイルや価値の創造を通じて、お客様の満足を追求し、生活文化の向上に貢献する

● 創造性の豊かな人材の育成

さまざまな個性や感性を持った多様な人材が、年齢や性別にとらわれず、自由にチャレンジできる環境を整えることで、創造性の豊かな人材を育成していく

3. 積極的な新規事業開発

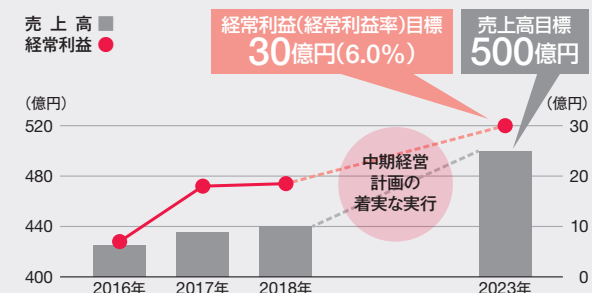
移り変わるお客様のニーズに 応え続けていく

〈国内〉 〈海外〉

● お客様のニーズの変化に対応するため、当社グループの強みである「目利き力」を活かして、「衣食住+美」の価値提供に寄与する魅力のあるブランド、事業開発を、M&Aや業務提携も視野に、ワールドワイドな観点から検討し、着実に実行

業績目標(連結)

2023年までに経常利益30億円の達成



Brand Topics

成長分野に対する効果的な経営資源投資



「イルビゾンテ」

2018年9月に立川ルミネ店、10月にグランフロント大阪店を新たにオープンしました。



立川ルミネ店



グランフロント大阪店



BENSIMON
AUTOUR DU MONDE

「ベンシモン」

2018年8月にマークイズみなとみらい店を新たにオープンしました。



「デンハム」

2018年2月にJR名古屋タカシマヤ店、3月に横浜高島屋店、吉祥寺東急店、新丸の内ビルディング店を新たにオープンしました。



新丸の内ビルディング店



東京ミッドタウン日比谷店

A.P.C.

「アー・ピー・シー」

2018年3月に東京ミッドタウン日比谷店を新たにオープンしました。

marimekko

「マリメッコ」

2018年3月に高松店、9月に日本橋店を新たにオープンしました。



高松店



日本橋店



marimekko

「マリメッコ」

表参道店
リニューアルオープン

2018年8月31日にグローバル旗艦店の表参道店を新たなコンセプト店としてリニューアルオープンしました。表参道店は新コンセプトとして、「マリメッコの家」と題しフィンランドの自然に焦点を当てた内装にするともにフロアごとの商品構成を見直し、より関連性の高い商品を集めることで、北欧発ブランドの世界観を伝えることに焦点を置いた店舗となっています。



2階



1階



地下1階

A.P.C. 海外展開

「アー・ピー・シー」

韓国において、株式会社アイディールックが新規出店を推進



新世界店



現代板橋店

[節目の年を迎えたブランド]

50
SCAPA



スキヤパ
誕生50周年

1967年に創設した「スキヤパ」は、ブランド設立50周年を迎えました。2018年10月より店頭で開催した50周年記念フェアに合わせて、50周年企画では過去のアーカイブからパッチワーク風のジャケットとスカートのセットアップをはじめ、イギリス北部のシェトランド諸島が発祥のブランド「ジャミソンス」とコラボしたダブルネームのニットを発売しました。また、チェック柄に花の刺繍を施し、生地の色をグラデーションにして過去から未来へ向かう様子を表現したスカーフも揃えました。

10
A DECADE OF DENHAM
2008-2018

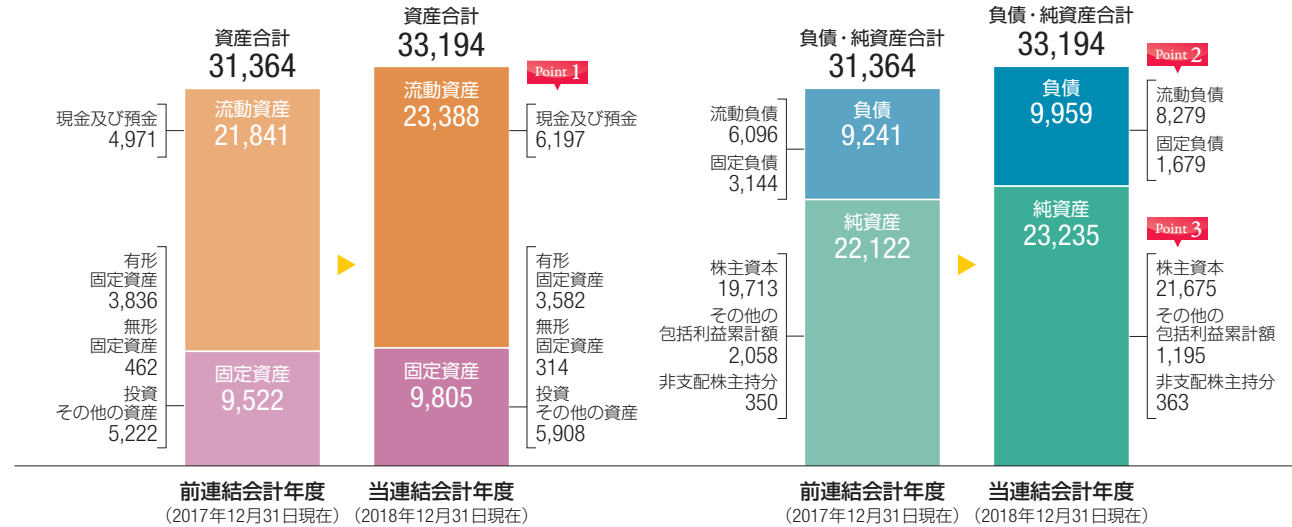


デンハム誕生10周年

2008年に国際的にも名高いデニム職人ジェイソン・デンハムによって設立された「デンハム」は、ブランド設立10周年という節目を迎えました。これを記念して、「A DECADE OF DENHAM(デンハム10年間の軌跡)」と題し、2018年2月より10か月間にわたり様々なイベントやコラボレーションを発表しました。また、記念本を発売し、2018年2月5日から2月22日の間、代官山葛屋書店にて特別展示を行ったほか、ブランドのファンとの交流イベント開催しました。

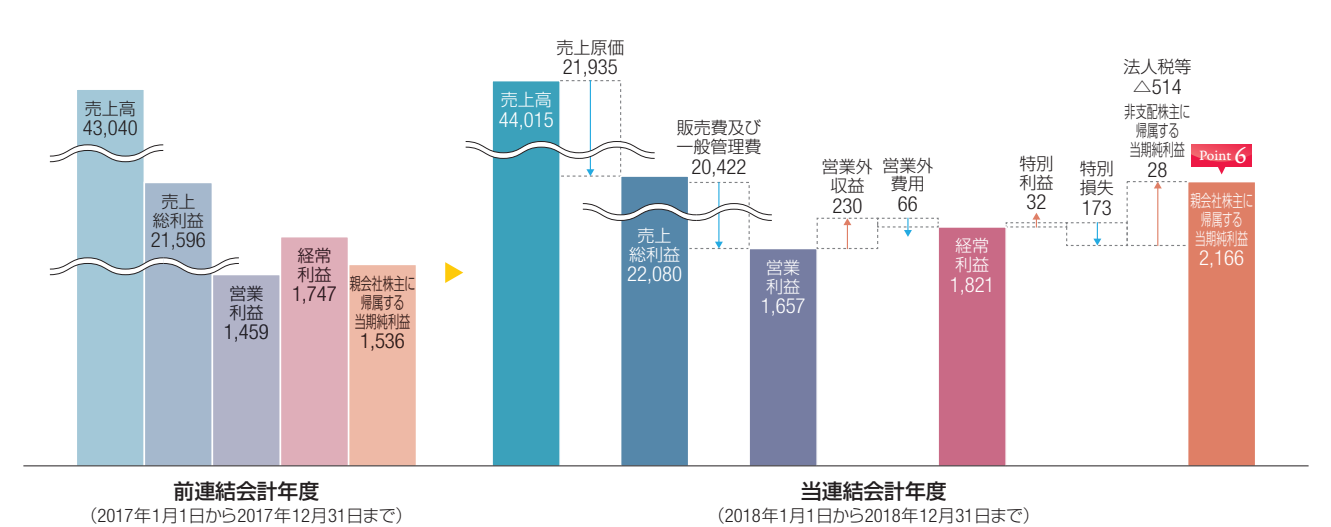
連結貸借対照表(要旨)

(単位: 百万円)



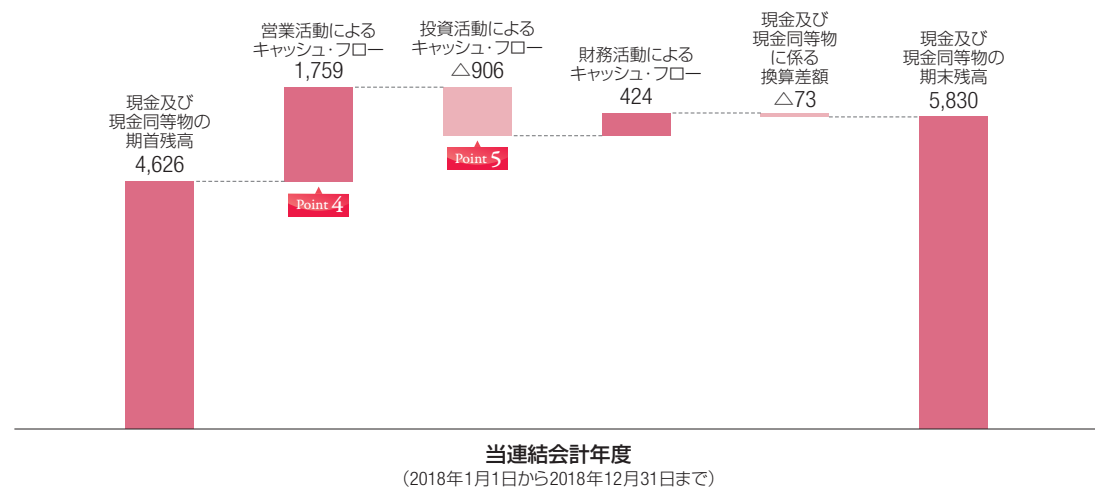
連結損益計算書(要旨)

(単位: 百万円)



連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位: 百万円)



- Point 1 資産の部**
新規出店や一部の輸入ブランドにおける仕入の早期化を実施したため、商品及び製品が増加したことなどにより、18億3千万円増加しました。
- Point 2 負債の部**
店舗設備の投資を目的とした借入金の増加などにより、7億1千7百万円増加しました。
- Point 3 純資産の部**
為替換算調整勘定が減少しましたが、利益剰余金の増加により、11億1千2百万円増加しました。

- Point 4 営業活動によるキャッシュ・フロー**
税金等調整前当期純利益が16億8千万円となり、増加要因として減価償却費8億9千4百万円、減少要因としてたな卸資産の増加9億4千3百万円などにより、17億5千9百万円の収入となりました。
- Point 5 投資活動によるキャッシュ・フロー**
店舗設備など有形固定資産の取得による支出5億5千9百万円などにより、9億6百万円の支出となりました。
- Point 6 親会社株主に帰属する当期純利益**
経常利益18億2千1百万円に加えて、繰延税金資産の回収可能性を慎重に検討した結果、法人税等調整額9億7千6百万円の計上などにより、21億6千6百万円となりました。

会社の概要

商号	株式会社ルックホールディングス
設立	1962年10月29日(登記上は1944年3月20日)
資本金	63億6,134万円
主要な事業内容	グループ会社の経営管理等
従業員数	1,557名(連結)
主要取引銀行	三井住友銀行 三菱UFJ銀行
本店	東京都目黒区中目黒2丁目7番7号

主要グループ会社

アパレル関連事業	日本 株式会社ルック A.P.C.Japan株式会社 株式会社レッセ・パッセ 株式会社デンナム・ジャパン 韓国及びその他海外 株式会社アイディールック 株式会社アイディージョイ ルック(H.K.)Ltd. 洛格(上海)商貿有限公司
生産及びOEM事業	株式会社ルックモード
物流事業	株式会社エル・ロジスティクス
飲食事業	株式会社ファッショナブルフーズ・インターナショナル

役員構成

2019年3月28日現在

代表取締役社長	多田 和洋
常務取締役	高山 英二
取締役	斉藤 正明
取締役	澁谷 治男
取締役	福地 和彦
取締役	井上 和則
常勤監査役	永瀬 雅俊
常勤監査役	佐藤 正男
監査役	杉田 徹
監査役	山崎 暢久

(注)1. 取締役 福地和彦および井上和則の両氏は、社外取締役であります。
 2. 監査役 杉田徹および山崎暢久の両氏は、社外監査役であります。
 3. すべての社外取締役および社外監査役を(株)東京証券取引所の定める独立役員として指定しています。

株式情報

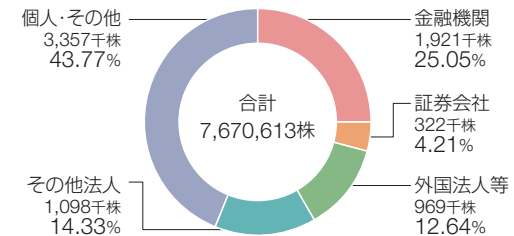
2018年12月31日現在

発行可能株式総数	24,000,000株
発行済株式の総数	7,670,613株
株主数	5,074名

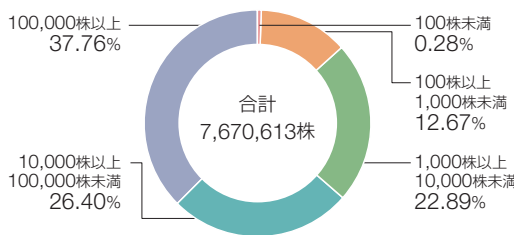
株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
八木通商株式会社	650	8.49
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	509	6.65
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	260	3.40
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	234	3.06
DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	201	2.63
住友生命保険相互会社	154	2.01
ルックホールディングス役員持株会	151	1.97
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口5)	138	1.81
株式会社三越伊勢丹	134	1.76
株式会社三井住友銀行	130	1.71

(注)持株比率は、自己株式(15,155株)を控除して計算しております。

所有者別状況(株式数比率)



所有株数別状況(株式数比率)



*自己株式15,155株は、「所有者別」は「個人・その他」に、「所有株数別」は「1万株以上」に含まれております。

株主メモ

事業年度	毎年1月1日から12月31日まで
定時株主総会	毎年3月開催
基準日	定時株主総会 毎年12月31日 期末配当金 毎年12月31日 中間配当金 毎年6月30日 そのほか必要があるときは、あらかじめ公告して定めた日

【株式に関する住所変更等のお届出およびご照会について】

証券会社に口座を開設されている株主様は、住所変更等のお届出およびご照会、口座のある証券会社宛にお願いいたします。証券会社に口座を開設されていない株主様は、下記の電話照会先にご連絡ください。

株主名簿管理人および特別口座の口座管理機関 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人事務取扱場所 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎ 0120-782-031

(ホームページURL) <https://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

【特別口座について】

株券電子化前に「ほぶり」(株式会社証券保管振替機構)を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座(特別口座といいます。)を開設しております。特別口座についてのご照会および住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告の方法 当社のホームページに掲載します。
<https://www.look-holdings.jp/>
 ただし、事故その他のやむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載します。

上場証券取引所 東京証券取引所市場第一部

最新ブランドニュースなど多彩な情報が満載

ブランドインデックス、その他各種イベント・新作情報・ニュース、会社案内など最新情報をお届けしています。



<https://www.look-holdings.jp>

IR情報

<https://www.look-holdings.jp/irinfo/>

IR情報ではトップメッセージ、個人投資家情報、決算短信などの各種IR資料やプレスリリース、株価情報など最新情報を掲載していますので、ぜひ一度当社のIRページをご覧ください。



ルックがお届けするファッションブランド公式通販サイト

「ルックアットイーショップ」 **LOOK@E-SHOP**

お客様のライフスタイルに合わせ、パソコンやスマートフォンなどからいつでもショッピングをお楽しみいただけます。

<https://www.e-look.jp>

▼QRコード



株主優待制度のご案内

(1)対象となる株主様

毎年12月31日現在の株主名簿に記載または記録された、当社株式1単位(100株)以上を保有されている株主様を対象といたします。

(2)株主優待の内容

当社オンラインショップ「LOOK@E-SHOP(ルックアットイーショップ)」(<https://www.e-look.jp>)において、取扱商品を次のとおりご所有の株式数に応じて販売価格から割引でご購入いただけます。

保有株式数	優待内容
100株以上 400株未満	2,000円の株主優待割引券を贈呈
400株以上	4,000円の株主優待割引券を贈呈

